

樽前山

○ B噴気孔群の表面温度

2007年以降，表面温度分布から推定された放熱量は僅かながら増加する傾向が認められた。

この傾向を確かめるために再測定を9月上旬に実施した．今年の4月に較べて表面温度分布(図2)に大きな変化は認めらず，推定された放熱量(図3)も4月と同程度で，今回の測定結果だけからは放熱量が増加傾向にあるとは言えない。

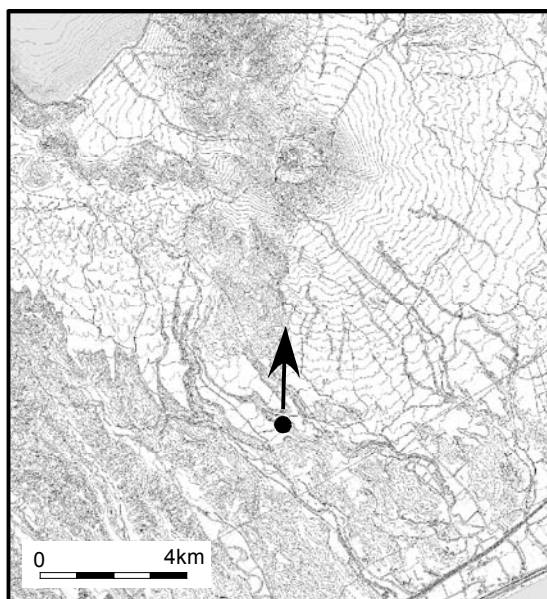


図1. 熱映像撮影地点位置図. 撮影地点はドームの南方およそ7 kmに位置する.

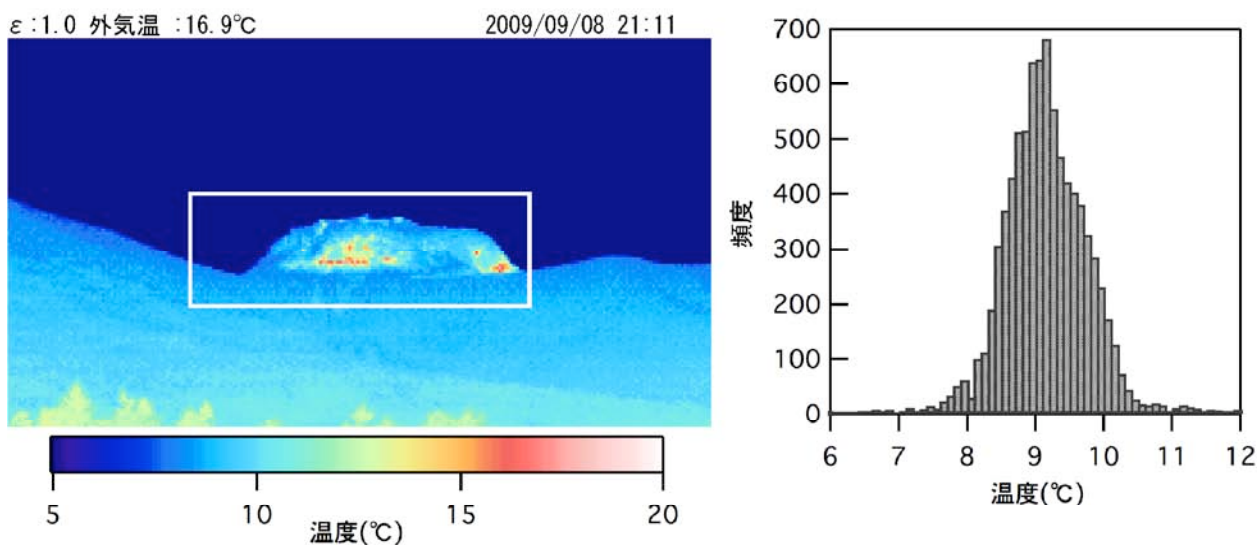


図2. B噴気孔群周辺の熱映像と表面温度頻度分布

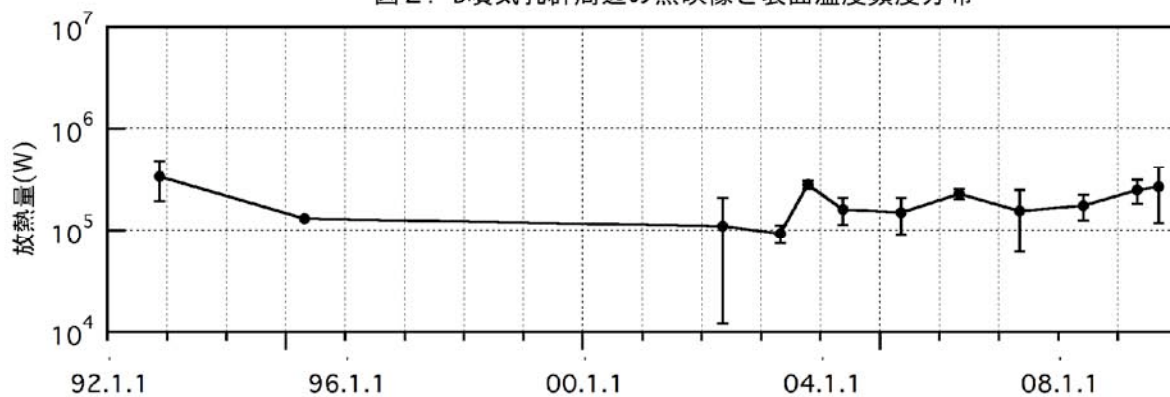


図3. 熱映像から推定したB噴気孔群からの放熱量の時間変化